



中村みえ後援会通信 1号



ひまわり新聞

2017年8月発行 中村みえ後援会事務所 〒283-0066 東金市南上宿16-13 TEL0475-55-5737 発行者/神谷美咲

6月市議会定例会にて代表質問

議員活動をするにあたり、東金市をどう発展させるかという大きな課題を、同一目線で取り組み、議論し活動する仲間たち6人の「蒼政会」に入会しました。先輩の方のご好意の下6月議会において会派を代表して、初めての一般質問を致しました。その一端をご報告致します。

中村 東金市を、活性化するためには、働ける若い世代の方を増やすことが最重要課題であり最優先すべきことではないかと思っています。

働く世代を増やすためには、他の地域に遅れをとらないような「福祉」を充実させ、市民にとって理想の地域にする事が、一番効果的な施策であると確信しております。

東金市に在住する若いご夫婦にとって安心して子供を産み育てる事の出来る環境整備が、今、求められているのだと、子育て経験のある私は痛切に思っているのです。

子育て支援策について(産後ケア)

中村 子育て支援に関して、こども課と連携して何かできないか。

市民福祉部長 子育てをされている方に対しては、妊娠から出産、子育て期にわたり切れ目ない支

援を提供することが求められており、少子化が進む中で子育て支援の更なる強化を図っていくことが必要であると認識しております。

そうした中、本市では、健康増進課とこども課が連携しながら、相談や訪問を実施しているところですが、今後、情報連携を更に強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を実現するため、「子育て世代包括支援センター」の設置について検討を進めているところでございます。

中村 産後ケア事業について他市ではすでに取り組まれていると聞いているが、東金市ではどうなっているのか。

市民福祉部長 出産後の母親の不安軽減を目的として、医療機関から退院した後に宿泊等により育児の指導を受けられる産後ケア事業を実施している自治体がある事は存じ上げております。千葉県では浦安市・君津市をはじめとする9市が宿泊による育児指導の提供や日帰りによる育児相談の機会を提供しております。こうした自治体では、助産所や産科医療機関に委託して産後ケア事業を実施しております事から、本市におきましても東千葉メディカルセンターと事業の実施に向けた協議を重ねているところでございます。

中村 産後ケア事業について市長の考えを伺いたい。

市長 子育てのスタートとなります出産間もない時期の母親に対するケアにつきましては、非常に重要なことだと認識しております。昨年5月に分娩取扱いが開始されました東千葉メディカルセンターにおきましては、本年3月迄に121件の出産がございました。こうして生まれてきた子どもたちがすくすくと育つよう、妊娠期から出産、そして、その後の子育てについても切れ目ない支援を提供するために、市では産後ケア事業の事業化に向けた協議を東千葉メディカルセンターと今年度から進めており、事業の早期実現を図ってまいりたいと考えております。

私の思い♥産後ケアは、人口政策としての問題だけではなく女性の社会進出の環境を整える一環、女性の社会進出を支える最も前向きな積極的な面からの施策であると思います。これからも切れ目のない子育て環境を訴えてまいります。

はい！議長



子育てのまち東金！



<http://mie-nakamura.net>